愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	教育実習事前及び事後の指導（小学校）		
担当者(Instructors)	白井 克尚,山本 かほる	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

教育実習の事前指導では、小学校における教育実習の目的・意義・方法等の概要を学ぶ。具体的には、実習の心構えを身につけるとともに児童の観察方法、学習指導案の作成、学級経営・生徒指導の方法等を学ぶ。 教育実習の事後指導では教育実習の成果を実習の記録から分析し、自らの課題を明確にする。その課題解決策を意見交換し、実習体験の共有化を通してよりよい解決策を探究する。 なお、オンデマンド授業時の質問等の受付については、授業内に指示する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	配付するテキスト「教育実習Ⅱ（小学校）事前・事後指導の手引き」を用いて、教育実習に必要な知識や心構えを学ぶ。配付する「指導案例集」をもとに指導案の形式・内容を学んで指導案を作成した後、全員が模擬授業を行い、その事後検討をディスカッション形式で行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション 教育実習の意義と目的	教育実習に向けた諸手続や事前事後指導の流れについて理解し、実習に向けた見通しをもつ。また、教育実習の意義と目的について理解し、実習への心構えをもつ。	□
第2回	教育実習の実際と、実習に向けた心がまえ	実習校での実習の進め方について理解する。また、教育実習も正式な授業の一部であること、児童にとっての貴重な学習時間であることを自覚した上で、教員としての言葉遣い、子どもへの適切な対応、服装、マナー、守秘義務、SNS禁忌、感染防止などについて確認する。	□
第3回	小学校の職員組織・校務分掌について 小学校での１日の流れ 発達段階を踏まえた児童理解について 学習指導案作成について	小学校の職員組織・校務分掌・１日の流れについて理解する。低・中・高学年の発達段階を踏まえた児童理解について学ぶ。模擬授業の指導案作成に向け、学習指導案の意義や各項目の意味、作成方法について再確認する。	□
第4回	授業の構想と参観について 板書・発問について	模擬授業の参観に向け、実習での参観から多くを学ぶことを目指して、授業のどこをどう見るかを学ぶ。また、模擬授業の実践に向けて「本時の目標」を踏まえた授業構想や板書・発問について学ぶ。	□
第5回	教育実習日誌等、実習諸記録の書き方について 実習事前訪問について	教育実習日誌などの実習の諸記録の書き方、実習事前訪問について学ぶ。教育実習日誌を指導してくださる指導教官の先生をはじめとした実習校の皆様に感謝し、謙虚に指導を受ける心構えを育成する。	□
第6回	模擬授業指導案作成・準備①	模擬授業に向けて指導案を作成し、教員の指導を受ける。	□
第7回	模擬授業指導案作成・準備②	模擬授業に向けて指導案を作成し、教員の指導を受ける。	□
第8回	模擬授業と事後検討①	模擬授業を順番に実践し、成果と課題を相互検討する。	□
第9回	模擬授業と事後検討②	模擬授業を順番に実践し、成果と課題を相互検討する。	□
第10回	模擬授業と事後検討③	模擬授業を順番に実践し、成果と課題を相互検討する。	□
第11回	模擬授業と事後検討④	模擬授業を順番に実践し、成果と課題を相互検討する。	□
第12回	教育実習の振り返り①（実習報告書の作成　実習事後訪問の準備　実習校への礼状作成	教育実習の成果を実習記録から分析し、明らかになった自分の課題を踏まえて、「教育実習（Ⅱ）報告」にまとめる。実習事後訪問の準備や、実習校への礼状の作成を行う。	□
第13回	教育実習の振り返り②（実習成果報告会の準備）	教育実習の成果と課題を実習成果報告会の発表原稿としてまとめるとともに、発表会開催の準備を協力して行う。	□
第14回	教育実習成果報告会	教育実習の成果と課題について一人ずつ発表し、共有する。	□

第15回	教育実習のまとめ	実習中に作成した指導案や記録を読み返し、整理する。教育実習の自己課題についてレポートにまとめる。	□
第16回			□
第17回			□
第18回			□
第19回			□
第20回			□
第21回			□
第22回			□
第23回			□
第24回			□
第25回			□
第26回			□
第27回			□
第28回			□
第29回			□
第30回			□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

配付するテキスト「教育実習Ⅱ（小学校）事前・事後指導の手引き」の毎時内容を予習する（１時間）。「指導案例集」をもとに指導案を作成し、模擬授業の準備を行う（２時間）。授業後課題を整理してまとめる（３０分）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出されたレポート・指導案は添削・採点の上返却する。模擬授業は事後検討の時間を設定し、課題を全体で共有する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	・教育実習の意義と目的を理解し、教壇に立つ意味と守秘義務等の重要性を理解することができる。 ・学習指導案の意義や各項目の意味を理解し、記述できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	・児童理解の方法が分かり、その理解を学習指導と生徒指導に役立てることができる。 ・各授業でめざす資質・能力を理解し、それを育成するための学習活動や指導上の留意点を、学習指導案上で構想・記述できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	・実りある教育実習にするため、自分が心がけるべきこと、学ぶべきことを主体的に考えることができる。 ・よりよい模擬授業にするため、進んで児童の実態を理解・想定し、手立てを工夫することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回の授業の振り返りから、教育実習への事前準備や事後の振り返りの取り組みの様子を評価する。教育実習の自己課題についてのレポートから、教育実習への取り組みの様子を評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)

1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	文部科学省『小学校学習指導要領＜平成29年告示＞解説　総則編』東洋館出版社	
2		
3		
4		
5		